

科目名	保育実習Ⅰ（施設）		担当教員	佐藤 隆司・久保 瑤子		
			担当形態	複数		
テキスト	保育実習指導Ⅰで配布した資料等。	単位数 授業形態	2単位	実習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <p>1. 利用者理解 福祉施設の利用者は、具体的に「どのような生活をし、どのように人と関わって生きているのか」を理解する。</p> <p>2. 職務の理解 職員が援助観に基づく意図を持って援助を行っていることを知り、その内容を具体的に知る。</p> <p>3. 施設の理解 実習施設の基本的な機能と役割を理解する。</p> <p>4. 自己課題 実習の目的と自身の長所・短所を見極め、倫理・価値観、専門知識、専門技術などの専門性の向上に努める。</p> <p>■授業の概要</p> <p>本教科は、保育士資格を取得するために必要な実習の1つであり、1年次の授業終了後に実施される。実習としては教育実習Ⅰに続くステップとなる。</p> <p>実習は、概ね11日間以上且つ90時間以上実施し、意欲・目的意識を持って参加するとともに、勤務時間の順守及び、日常の記録の作成と提出等が必要になる。</p> <p>また、障害者スポーツ大会及び夏季ボランティア、現場の職員によるレクチャー、先輩の話などを行って、要保護児童、障がい児（者）、福祉施設に対する理解を進め、実習直前には事前訪問を通じて、また、実習施設と実習生とが相互理解する機会を設定し、施設の状況を理解した上で実習に臨めるように計画している。</p> <p>学生には多様な異なる価値観を受け入れる素地を創るきっかけとなることを目的とする。</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習指導Ⅰの受講および実習園からの課題 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導の目標の達成状況 — 10% ・実習の取り組み状況 — 40% ・実習記録 — 20% ・実習園からの評価表 — 30% <p>※実習事前事後指導を学修していることが前提条件。</p>						
参考文献	追って指示する。		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を規定時間行うことが必要となるものの、規定時間を満たしたとしても実習の状況等により、単位の修得ができない場合があり得る。 ・単位を修得出来ない場合、次年度の保育実習Ⅱ、Ⅲ及び保育実習指導Ⅱ、Ⅲは履修出来ない。 <p>【課題等のフィードバック方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習記録はコメント等を記入し返却する。 		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修		幼			
			保	保育実習		